

日本秘境100選^{とろかわ} 瀨川溪谷、瀨川山登山道

日本秘境100選に兵庫県で唯一選ばれているのが、瀨川溪谷です。瀨川溪谷の下流は、棚田が広がります。全国食味コンクールで金賞を何度も授賞する米どころでもあります。距離、高低差があり、長時間の登山となりますので、ガイドサービスを利用されることをおすすめします。

- 1 ハチ北高原ファミリーゲレンデをスタートし、町道兎和野ハチ北線を通り、兎和野高原を目指す。約6kmのアスファルト道は、車通りも少ないので、安心して歩ける。
- 2 兎和野高原野外教育センターから板仕野方面を目指し、1kmほど歩くと、左側に『瀨川稻荷神社方面』の案内看板があり山道に入る。
- 3 そこからさらに2km歩くと瀨川稻荷神社に到着する。鳥居が幾重にも連なる参道を通って稻荷神社本殿を参拝しトレッキングの安全を祈願する。なんとなく神の領域に入らせていただくことへの畏怖の念を感じる。
- 4 15分ほどで、樹齢400年とされる板仕野の大かつらに出会う。
- 5 その脇をとおり約40分歩くと、双身の滝、不動の滝にたどり着く。高低差56mの滝は圧巻だ。
- 6 もと来た道を板仕野の大かつらの手前50mぐらいまで戻ると右に入る道があり、そこから瀨川山への登山道に移動する。途中、ブナの原生林を通過していく。



- 7 しばらくすると、但馬高原林道瀨川氷ノ山線にあたる。瀨川平と呼ばれる高原地帯に、未舗装路としては、異例の約2kmの直線コースがあり、登山者のみならず、多くのオフロードバイクなどの愛好家もここを訪れる。ちなみにこの林道は、戸倉峠から村岡に至る全長60キロの兵庫県を代表する林道であるが、その約3分の2が未舗装となっている。
- 8 林道の直線を通ると、左の森に入るところがあり30分ほど歩くと、瀨川山(1,039m)にたどり着く。ここでは、ハチ北スキー場で有名な鉢伏山を真正面に仰ぎ見て、さらにその奥には、兵庫県最高峰の氷ノ山もしっかりと見える。また瀨川山の眼下には、ハチ北の集落が広がる。
- 9 30分ほど歩くと、左に折れる場所があり、大沼へと導かれる。大沼は高層湿原となっており、ヤマドリゼンマイや、モウセンゴケなど、湿地帯に生息する貴重な植物がある。また湿原を取り囲む場所に西日本では最大級のハルニレの巨木があり、春には一面に、ニリンソウのうつくしい花がひろがる。
- 10 そこを通過すると、終点のハチ北ファミリーゲレンデに到着し、登山は終了だ。



● 難易度 : ★★★★★
 ● トイレ : 木の殿堂、瀨川稻荷東屋
 ● アクセス : ハチ北高原まで自家用車
 ● 問合せ : うづかの森
 TEL:0796-96-0024

距離(約)
20 km